

2024 年度  
第 16 回 びわこジャズ東近江  
事業計画書



開催日 2024 年 4 月 27 日 (土)・28 日 (日)

会場 東近江市役所～八日市駅周辺(予定)

びわこジャズ東近江実行委員会

## ◆ 事業理念

地域とともに、地域の良さを活かして

私達のふるさと、東近江を素敵な音楽でいっぱい楽しく住みよいまちにしていきたい

音楽という文化には国境や世代を越えることのできる平和の象徴ともいえる力があります。

また各地で盛り上がりを見せているまちかどを使った音楽イベント… その感動は老若男女を問わない誰もが自然に参加できるすばらしいものです。

駅前のスペースや各商店まちのまちかど、公園や各施設にご協力をいただき、まち全体をステージに見立て、いつものまちをぶらりと歩く。…案外見当たらなかったものがふと顔を見せてくれたりするものです。

古きよき音楽と、新しい可能性に満たされた音楽との融合があり、季節の風を感じてまち全体がいきいきと変わっていく…そんなまちづくりをしていきたいと思えます。



## ◆第 16 回 びわこジャズ東近江 開催テーマ

### 『 Joy Spring 』

びわこジャズ東近江は「私たちのふるさと東近江を素敵な音楽でいっぱい楽しく豊かなまちにしていきたい」という思いを込めて 2009 年にスタートした音楽イベントです。これまで多くの地元企業様やボランティアの皆様、出演者の皆様に支えられ、このたび 16 回目の開催を迎えることになりました。心より感謝申し上げます。

私たちはコロナ禍で 2 回の中止を経験しましたが、「こんな状況だからこそ音楽の力で地域を元気にしたい」という気持ちを持ち続け、決して歩みを止めることなく今日まで取り組んできました。どんな制約や困難があっても立ち止まって嘆くのではなく、どう乗り越えようか知恵を絞って柔軟に考え、仲間と共に行動に移す。これがコロナ禍を経験した私たちが、これから果たすべき役割だと考えます。これからはジャズの持つ自由な発想とフロンティアスピリットを大切に、このイベントを継続することがこれからの東近江のまちづくりと芸術文化の発展に繋がると信じています。

今年のテーマは「Joy Spring」です。クリフォード・ブラウン作曲のこの名曲には辛くて長い冬の後にやってくる春は私たちに希望と生きる力を与えてくれると歌われています。うきうきとした気持ちで、新しい一歩を踏み出すこの季節。ポカポカ春の陽気と、賑やかな音楽が東近江のまち中に笑顔と活力をもたらしてくれます。ご来場される皆様が心から楽しめる素敵な時間を過ごしていただけることを願って、『第 16 回びわこジャズ東近江』を開催します。

皆様のご来場、心よりお待ちしております。

びわこジャズ東近江実行委員会  
実行委員長 森 鉄兵

## ◆ 開催概要

- 日時 1 日目 2024 年 4 月 27 日(土)  
2 日目 2024 年 4 月 28 日(日)
- 場所 滋賀県東近江市(近江鉄道 八日市駅～東近江市役所周辺一帯)
- 交通 JR 琵琶湖線「近江八幡駅」下車→近江鉄道乗換え「八日市駅」下車
- ステージ 東近江市市街地を中心に全 40 ステージ(2 日間延べ数) ※予定
- 出演者 約 200 組 ※予定 (2 日間延べ数)
- 主催 びわこジャズ東近江 実行委員会
- 協力 八日市商工会議所
- 後援(予定) 東近江市・東近江市教育委員会・東近江市観光協会  
滋賀報知新聞社・滋賀県中小企業家同友会  
東近江ケーブルネットワーク株式会社
- ウェブサイト <https://biwako-jazzfes.com>

## ◆ 開催コンセプト

普段のまち並みがステージです

駅前から市役所へ向かう並木道(グリーンロード)を中心としたまちそのものがステージです。

飲食店や駅前道路、病院や公園、広場がその日だけのステージとなります。



すべてが手作り 参加者みんなで作っています

音楽を演奏するのが好きな人、音楽を聴くのが好きな人に支えられ、学生を含む一般ボランティアで運営しています。昔からのお祭りがそうであったように、すべて手作りで行われています。



みんなの笑顔に支えられて行われています

当日は 500 名以上のボランティアの方々に支えていただいています。自分達のまちのために笑顔で取り組める…そんな素敵なまちに誇りを持って多くのお客様をおもてなしします。



# ◆ びわこジャズ東近江の歴史

びわこジャズ東近江は、2009年に「びわこジャズフェスティバル in 東近江」として始まりました。

第1回は地元経済団体の記念事業としてスタート。回を追うごとにステージ会場を増やし、演奏だけでなくサブ会場のフリマや地元企業ブース、歩行者天国、地域スポーツチームとのコラボ、前夜祭など、様々な試みを通じて現在の原型を形作っていきました。第3回開催直前には東日本大震災が発生。こんなときだからこそ盛り上げようと奮起し、被災地への募金活動や、楽器の寄付活動も行いました。

第1回 2009年  
4月5日(日)



第2回 2010年  
4月18日(日)



第3回 2011年  
4月24日(日)



これまでのノウハウを結集し  
2日間開催へ。

先輩の他府県のジャズフェスに倣って、第4回から2日間開催になりました。第5回では、未来を担う若者たちの音楽のレベル向上をめざした10代メンバー限定のコンテスト「ティーンズバトル」を初開催。ダンスステージ、てづくり市などの企画もこの頃から始まりました。

第4回 2012年  
4月14日(土)・15日(日)



第5回 2013年  
4月20日(土)・21日(日)



第6回 2014年  
4月19日(土)・20日(日)



第7回 2015年  
4月18日(土)・19日(日)



「びわこジャズ東近江」に改称し、  
現在へ。

実行委員長の交代とともに、さらなる発展を期して第8回より現在の名前に改称しました。ジャズフェスとしての内容の充実だけでなく、若い世代に向けた「ストリートチャレンジ」や、地域資源の充実を目指す「パンフェスティバル」など新しい試みにも挑戦しました。

第8回 2016年  
4月23日(土)・24日(日)



第9回 2017年  
4月22日(土)・23日(日)



第10回 2018年  
4月29日(日)・30日(月)



第11回 2019年  
4月28日(日)・28日(月)



第12回 2020年4月25日(土)・26日(日)



第13回 2021年6月5日(土)・6日(日)

→9月19日(日)・20日(月)に延期

新型コロナの影響により開催中止

第14回 2022年9月24日(土)・25日(日)

新型コロナウイルスによる2回の中止を経た第14回。テーマを「再発見」とし、万全の感染対策で、例年と変わらない開催規模を目指して、開催時期もコロナの波を見据えて初の秋開催としました。ジャストレインも復活し、2日間ののべて、ステージ数39、約200組の出演者、ボランティア参加者約300名、約35,000名にご来場いただきました。



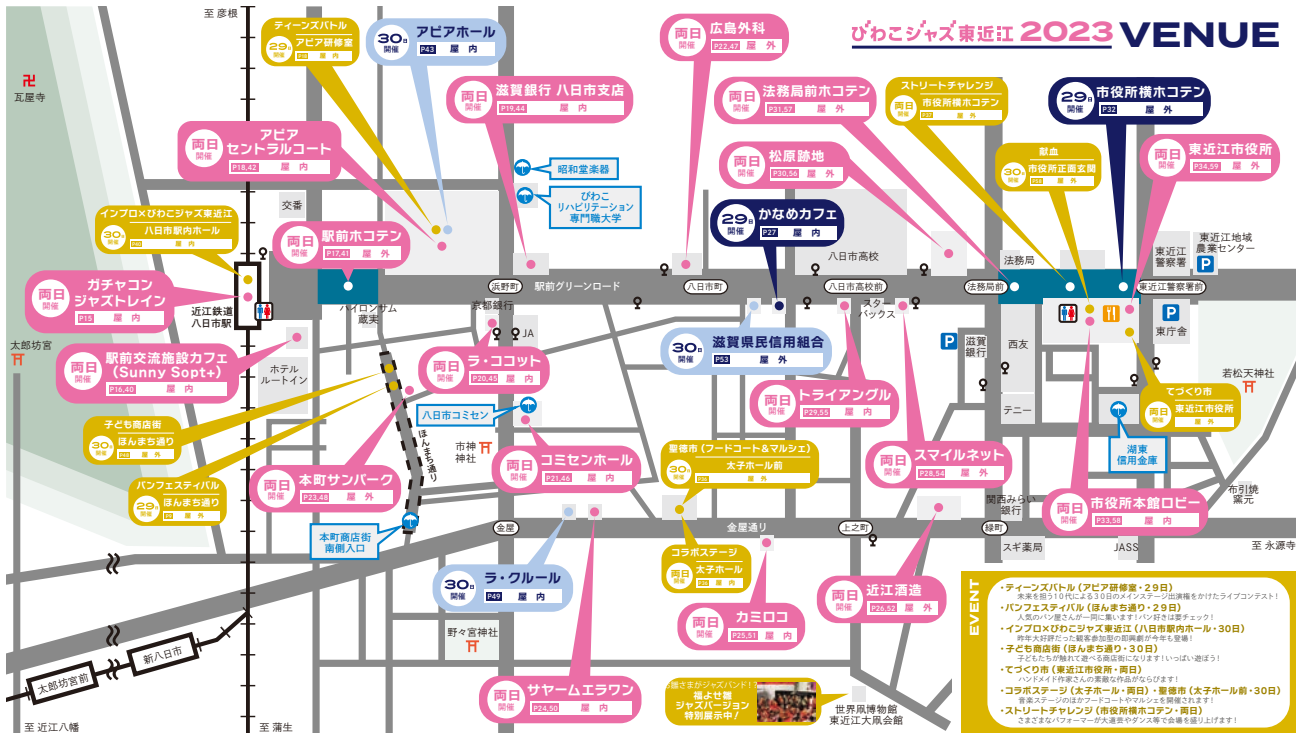
第15回 2023年4月29日(土)・30日(日)

15周年を迎え、新型コロナウイルスによる中止から明けた前回を経て、名実ともに通常の生活に戻る思いを込めて、例年通りの春開催としました。周年での「とび太くん」コラボや、地元団体との連携などを推し進め、運営体制の強化を図る試みなども行いました。多少の雨にも見舞われましたが、2日間ののべて、ステージ数42、約200組の出演者、ボランティア参加者約550名、約35,000人にご来場いただきました。



実行委員募集中! 詳しくはウェブサイトをご覧ください

# ◆ 前年度事業報告



## ■ 開催データ

出演バンド/約 200 組      ボランティア数/約 300 人      来場者数/約 35,000 人 (各、2 日間のべ)

## ■ 開催ステージ

駅前ホコテン	ラ・ココット	広島外科	市役所本館ロビー
駅前交流施設カフェ	滋賀銀行八日市支店	滋賀県民信用組合	東近江市役所
SunnySpot+	コミセンホール	かなめカフェ	市役所横ホコテン
アピアセントラルコート	サヤムエラワン	トライアングル	ガチャコンジャズトレイン
アピアホール	ラ・クルール	スマイルネット	
アピア研修室	カミロコ	松原跡地	
本町	近江酒造	法務局前ホコテン	

## ■ 会計報告

### 収入の部

科目	決算額	備考欄
前年度繰越金	382,247	
補助金	100,000	東近江市
協賛金	6,082,500	地元企業、商店、団体など(広告&パナー)、出演協力金
イベント収入	877,500	グッズ販売等
その他収入	1,931,707	フードコート等出店料・会場募金など
合計	9,373,954	

### 支出の部

科目	決算額	備考欄
設営費	2,032,385	会場設営関係費等
音楽関係費	3,405,200	PA費、レンタル費、調律、出演費等
広報費	2,063,570	パンフレット、チラシ作成費、広報活動費等
事務費	1,613,864	会議費、事務関係費、運営関係費等
合計	9,115,019	
次年度繰越金	258,935	